交通危険箇所や渋滞箇所の情報提供が望まれる
（大田原地区浅香１丁目）

交通危険・渋滞箇所の情報管理について

質問（井上雅敏議員）交通危険・渋滞箇所の情報収集の方法及び情報管理・公開・活用はどのように行っているか伺います。

答弁（市長）交通危険箇所及び交通渋滞箇所の情報収集については、組織的・体系的な調査活動は行っておりませんが、関係機関・地元自治会・公聴事業を通じて、適時把握するよう努めておりまして有効に機能しているものと考えています。

次に、情報管理・公開・活用については、地元自治会等を通じて知り得た危険・渋滞情報に対しては、対応策や計画並びに予算などについて内部協議を行い、迅速に実施するもの、中長期的に解決すべきものに選別し、その結果を遅滞なく関係者には返答しております。

併せて、他官署所管事務事業については、円滑な事案の引き継ぎに努め併せて改善要望を行っており、情報収集・管理・活用面においては十分機能していると考えております。しかし、中長期的に解決しなければならない案件に対し、断続的な重複要望がなされないとも限りません。つまり、同一危険・渋滞箇所に対して、不特定多数の道路利用者が同じように危険・渋滞と考えることもあります。それらの市民に対して情報公開がないのではないかとのご提案は理解できますので、大田原市ホームページを活用して、必要に応じて交通危険箇所の情報公開に努めてまいりたいと思います。

ラジオ体操のまちについて

質問（本澤節子議員）健康市民のまち大田原を目指して、ラジオ体操のまち大田原の実現について伺います。

答弁（市長）本市は、平成十九年三月に「健康おおたわら21 二十一世紀における健康増進計画」を策定しました。この計画は、市民の健康診査やレセプトデータなどを分析し、生活習慣病の予防などを課題に掲げ、メタボリック症候群の改善を盛り込んだことが特徴であり、この計画概要版を全戸に配布したほか、市民向け各種生活習慣病予防講座などで活用しているところであります。この計画の中で、運動・身体活動の方針といたしましては、一つには、内臓脂肪・高血糖・高脂血症の改善、血圧の低下やストレス解消等生活習慣病予防における運動効果の普及啓発として、健康診査後の保健指導の際に、個別の健診結果のデータに応じた運動支援を行っております。二つには、自分の健康状態、体力等に合わせて手軽に実践できる有酸素運動の基本である「ウオーキング」の普及啓発を図るために、昨年、「健康ウオーキングマップ」を作成して実践しているところであります。ラジオ体操も運動の一つと考えますが、本市は運動を身体活動という幅の広い考えとして、個人の健康状態、体力、日常生活活動等を踏まえ、個人にあった運動を勧めることを基本として、あらゆる有酸素運動の実践を呼びかけているところであります。

「健康は自分に贈ることのできる最高のプレゼント」
をスローガンに市民の健康づくりを推進する